

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	454 母子健康診査事業	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	01	保健衛生費
基本	01 10万市民の健康を維持する	目	01	保健衛生総務費
施策		細目	241	母子保健事業
		細々目	01	母子健康診査事業
行革大綱の重点事項番号		担当者	43 - 0332	
担当部課	コード 653000 名称 阿山支所 住民福祉課	氏名	小田真規子	連絡先 (内線)

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	1歳6ヶ月児、3歳6ヶ月児とその保護者	※対象件数
成果(どうする)	乳幼児の疾病の早期発見、早期治療につなげる。育児不安の軽減。児童虐待の予防等を図る	
根拠法令・要綱等	母子保健法	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
H22 事業内容	1歳6ヶ月児・3歳児健診・・・市内集団検診実施	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
1歳6ヶ月児健診受診者数	目標	人	50	43	45	40
	実績		46	42		
3歳児健診受診者数	目標	人	55	43	45	40
	実績		53	43		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
1歳6ヶ月児受診率	受診者/対象者	%	目標	100	100	100	100
			実績	93	98		
3歳児健診受診率	受診者/対象者	%	目標	100	100	100	100
			実績	98	100		

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの財源内訳	国庫支出金	62	63	64	64
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	62	63	64	64
	フルコスト(A)+(B)	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440
		1,502	1,503	1,504	1,504

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	○
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	○
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
有効性	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは地域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
達成度	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
効率性	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。	
	【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
昨年度の取組状況	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

改善策	
昨年度の取組状況	【詳細】

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	福田真由美
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 母子健康診査の実施により、乳幼児の健康管理や母親の育児不安の相談等を行っている。今後も各種健診を実施して育児指導等を行う。
現時点における課題、その他	未受診者を把握する必要がある。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	赤ちゃん訪問や乳幼児相談を活用し、健診の受診率100%を目指す。未受診者には訪問等を実施する。